

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

おおづ

7
JULY 2023

Public relations
OZU TOWN



▲野山さんを知る児童が下校時間にたまたま通りがかり、「いっしょに撮って!」と言われて撮影した1枚。野山さんの周りには自然と人が集まります。



▲くまもと親の学びチームおおづ(左)、MISAINO BASE(右上)、大津町防災士(右下)の活動服

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人



悩むより まず、やってみる

のやま
野山 ひろみさん(美咲野)

大津町に住んで15年以上の野山ひろみさん。現在、地域学校協働活動推進員(美咲野小)や防災士など、町内での活動は多岐に渡る。地域の活動に参加し続ける思いに触れた!

夫の勤務先が大津町で、結婚を機に引っ越してきた野山さん。「初めて話すおじいちゃんから『野菜持っていかなね』とお裾分けをもらうことがあります。出身ではない私たちをやさしく受け入れてくれる大津。大好きなんです」と目を細める。

引っ越して1年後に出産。大津での子育てが始まる。「職場が子ども同伴可能だったので、出産前から子どもには慣れていました。しかし、自分の子育てとなると、一瞬も目が離せないので余裕がないこともあります。そのときに町の施設で子どもを預け、話を聞いてもらったとき、気が楽になりました。人に頼っていいんだ」と地域のみんなで子育てをすることに気づく。

子どもが小学2年生の時、周りの勧めや子どもとの成長に関われるからと、PTAに参加。「大変なことも多いですが、人のつながりが増えることで一人ではできないことをいろんな人の知恵で解決できることがあります。私は相談されることが多いですが、なんでもできるわけではありません。分からないことは人に聞くだけ。つながりが大事です」と話す野山さんは人との出会いを大切にしていた。

「できないことでも、楽しそうが勝ち、とにかくやってみようから始まります。自分の知らないことができるようになるのとわくわくしますね」と何をしても前向きな母の姿を残し続ける野山さん。

こゝの声

7月から大津町採用試験の募集が始まります。

入庁して3年目になりましたが、試験や面接を受けたときの記憶は今でも覚えています。役場の仕事と言えば窓口業務の印象が強くて、広報誌を作る仕事は真逆の業務。取材や撮影、文章の作成など、初めての経験ばかりで入庁当初は不安でいっぱいでした。ですが、たくさんの方の住民の人と出会い、大津町の魅力を教えてもらい、もっと大津町のが好きになりました。この仕事に携われたからだと思います。野山さんの言葉にもありますが、なんでもまず挑戦してみることが大事です。進路に迷っている人はぜひ、一緒に働いてみませんか(30)



UD FONT
見やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

広報 おおづ 2023 7



発行・編集 大津町 総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>



印刷 印刷 印刷株式会社
※ 広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使っています。

今月のみどころ

P2~5 まちづくり町民懇談会開催

一緒につくる、私たちのまち!

P6~7 大津町職員採用試験案内

P8 大津東小学校で学ぶという選択肢

P9 高見春代さんが大津絵巻を制作

大津東小学校では地域の人たちと一緒に、校舎の近くにある田んぼで毎年田植えを行っています。小規模特認校の募集が始まります(詳しくは8ページ)。